

特定非営利活動法人エーキューブ
平成23年度 事業報告及び決算報告書

期間：平成23年4月1日～平成24年3月31日

平成24年5月23日

総括

平成23年度は3月11日の東日本大震災後激動の年となりました。従来の動物介在活動は年度上期、被災動物の支援を重点的に行ったため活動始動を遅らせたり、回数を減らすことで調整いたしましたが、質を落とすことのないように心がけ次年度につながる活動となりました。これはひとえに各訪問施設のご理解とご協力をいただいたことと、今まで訪問してきた中で培われた信頼関係を強く感じる事でありました。

新規事業としては、中山市民センターでのセミナーとAAE、宮城野区公園課とのペット飼育者へのマナー啓発事業がありました。又平成24年度からの新規事業としてAAEの依頼もありと、10年間真摯に活動してきた結果が出てきた証ではないかと思っています。

震災後被災動物の為に何かをしたいという方が多く入会され、避難所、仮設住宅での支援や動物管理センターでの被災動物のケアに尽くしていただき、お蔭様で十分手がかけられた犬や猫たちは人への社会性も付き、高い譲渡率で新しい家庭を持つ事が出来ました。

事業報告

動物介在活動・介在療法・介在教育並びに不登校に係わる事業

《訪問活動報告》

*トリック：活動参加動物の得意芸 *ハンドラー：自身のペットを連れ活動に参加する会員

*サポーター：ペットを連れずに活動に参加する会員

活動形態	動物介在活動 / 高齢者 / 集団
施設名	医療法人社団 初心会 杜のホスピタル・あおば (仙台市内)
目的	入院の対象者 15 名とデイケアの対象者 15 名の混在型に対し、動物とのふれあいを通して心身の活性化や情緒の安定を図り、日々の生活への意欲を引き出すなど、単調な時間になりがちな日常の中での楽しみや癒しとなることを目的としています。
概要	<p>〈実施日〉 全 5 回 対象者参加のべ人数 計 150 名</p> <p>① 7/20・対象者数：30 名・従事者数：13 名・犬：4 頭</p> <p>② 10/19・対象者数：30 名・従事者数：15 名・犬：8 頭 ※研修を兼ねる</p> <p>③ 11/16・対象者数：30 名・従事者数：7 名・犬：4 頭</p> <p>④ 12/21・対象者数：30 名・従事者数：8 名・犬：3 頭</p> <p>⑤ 1/18・対象者数：30 名・従事者数：7 名・犬：3 頭</p> <p style="text-align: center;">参加のべ数：従事者 50 名・犬 22 頭</p> <p>〈活動場所〉 杜のホスピタル・あおば 1F デイルームにて</p> <p>〈活動内容〉 前半後半 15 分ずつの 2 部制混在型の対象者と動物とのふれあいや参加動物のトリック披露、さらに参加スタッフとの会話や対象者参加のトリックを展開するなど、対象者それぞれの状態に応じた関わりが持てるような活動を心がけています。</p>
成果	<p>今までの活動の積み重ねでエーキューブ側と施設スタッフの息が合い非常に洗練された流れを作り上げることができました。車イスの対象者へのアプローチを犬がしやすいように施設スタッフの配慮が自然に行われていました。トリックを参加型にしているため、対象者の動きが求められるのですが、自発的な行動にも施設スタッフの介助がスムーズで安心して犬を動かすことができました。</p> <p>施設側からは常に犬の衛生管理が徹底されていることの評価と、普段笑顔のない方の笑顔がみられたり、他者に対して怒りっぽい方が他の対象者とかわりなく落ち着いて参加していることの賞賛をいただきました。来年度も施設スタッフとの打ち合わせを密に行い、参加型トリックの新たな展開や『かなり高齢の方が多い活動』ならではの内容の充実を図りたいと思います。</p> <p>※活動報告会実施 2/15</p>

活動形態	動物介在活動 / 高齢者 / 集団
施設名	医療法人社団 清山会 いずみの杜診療所 (仙台市内)
目的	デイケアを利用されている方を含めた、地域在住の高齢者が、動物とふれあう事により、楽しみ、癒しの機会となると同時に、身体的にも活動性が高められる事を目的とします。また、同施設にて実施する動物介在療法での対象者の様子の比較や、対象に向いていると思われる方を見出すことも目的とします。
概要	<p>〈実施日〉 全5回 対象者参加のべ人数 計64名</p> <p>① 11/11・対象者数：10名・従事者数：7名・犬：4頭 ② 12/9・対象者数：8名・従事者数：7名・犬：3頭 ③ 1/27・対象者数：8名・従事者数：6名・犬：3頭 ④ 2/25・対象者数：11名・従事者数：9名・犬：4頭 ⑤ 3/25・対象者数：27名・従事者数：9名・犬：6頭</p> <p style="text-align: right;"><u>参加のべ数：従事者38名・犬19頭</u></p> <p>〈活動場所〉 ①～④はいずみの杜診療所デイケアホールにて、 ⑤は介護予防教室＝永和台集会所にて</p> <p>〈活動内容〉 ①～④：主に軽度～重度の認知症および脳卒中後遺症の高齢者を対象として、動物とのふれあい、参加動物のトリック等を行う約30分間の活動です。 ⑤：通常のデイケアでの活動ではなく、デイケアを利用されていない地域の高齢者（介護予防教室参加者）を対象とした活動です。 ④、⑤：仙台医療福祉専門学校生1年生3名スタッフ参加</p>
成果	<p>今年度は、昨年度と異なる曜日で実施したため、新たに対象となる方が増え、より多くの方に楽しんで頂いたと同時に、新たな反応をみる事ができました。また、施設スタッフからは以前からの対象者は、活動が恒例化し、次回を楽しみにして、担当に声をかけて下さる方がおられる一方、以前との比較から、病状の進行がみられる方もいらっしゃったという報告がありました。さらには、対象者は10名前後ですが、周囲で見学されている方も多数おられ、その方々にも楽しんで頂けるように、トリックやふれあいを工夫しました。来年度はこれを進めて、いずみの杜のケアの特徴である、「雑踏ケア」に馴染んだ活動にしていきたいと思えます。また、動物介在療法が施設側の都合により休止状態にあるため、再開できるように準備を進めていきます。</p>

活動形態	動物介在活動 / 成人 / 集団
施設名	社会福祉法人 なのはな会 知的障害者通所更生施設 こまくさ苑 (仙台市内)
目的	参加動物・飼い主とスタッフが訪問し、重度知的障害者（通称：ゲンデル）の方と約 30 分の時間を過ごします。身体や視覚・聴覚が不自由な方には施設担当者が付き添いながら、動物とのふれあいを楽しみます。職員の方と綿密な打ち合わせをしながら、対象者の状態（体力や視覚・聴覚・触覚・会話等）に合わせ、動物とのふれあいが対象者に良い刺激となるような活動を行うことを目的としています。
概要	<p>〈実施日〉 全5回 対象者参加のべ人数 計 33名</p> <p>① 7/5・対象者数：7名・従事者数：8名・犬：3頭 ② 8/9・対象者数：7名・従事者数：6名・犬：2頭 ③ 10/4・対象者数：7名・従事者数：7名・犬：3頭 ④ 11/1・対象者数：7名・従事者数：8名・犬：3頭 ※NPO 他団体2名見学 ⑤ 12/6・対象者数：5名・従事者数：8名・犬：3頭</p> <p style="text-align: center;">参加のべ数：従事者 37名・犬 14頭</p> <p>〈活動場所〉 こまくさ苑 ゲンデルルームにて 〈活動内容〉 動物介在活動のふれあい活動 今年度もゲンデルの方を対象に、少人数でのゆったりとした活動を行いました。車椅子の方、座位やふれあいに介助が必要な方が参加され、それぞれのペースや体調・状態を見ながら犬とのふれあいを楽しみます。</p>
成果	<p>施設担当者との事前打合せで毎回対象者の方々の動作確認や体調・気持ち等を詳しく解説していただき、それを次の活動に反映させることができました。今年度は特に、同じ部屋でも車椅子の方（床）と座位や横になっている方（畳）との距離ができるだけ近くなるよう配置を工夫し、結果、犬の様子や仲間の様子がお互いによく見えるようになり、活動に一体感が生まれました。また普段お世話をしてもらう事多いゲンデルの方々が犬の毛をブラシで梳かしたり、ひざの上に小型犬用のベッドを乗せたり、トリックの際犬のおもちゃを持つなど、自ら関わることで表情に変化が現れ、笑い声や笑顔も多く見られ、また大きさや形の違う犬に対しての好みや身体の動きなど、新たな一面を知ることができました。</p> <p>会員自身も回を重ねるごとに個々の対象者への理解が増し、犬とのふれあいを通してコミュニケーションも深まり、毎回楽しみに参加しています。</p> <p>報告会では、動物介在活動がゲンデルの方々にとって意義のある活動であると共に、施設スタッフの方々にとっても対象者の方の表情の変化や身体の動きから、通常の生活の中にも生かされるものがあり次年度は更に活動の枠を広げたいとの評価・要請をいただき、来年度も一緒に取り組んで参ります。</p> <p>※活動報告会実施 1/23</p>

活動形態	動物介在療育 / 児童 / 集団&個別 / 仙台市協働
施設名	仙台市適応指導センター 児遊の杜 (仙台市内)
目的	不登校の児童生徒が困難を乗り越えて通級し始めた不安な時期に、犬の存在をきっかけに、会員と自然にコミュニケーションがとれるようになることや、様々な学年の複数の児童生徒が同じ空間で犬が存在しながら一緒に時間を共有することにより、他者との関係作りに一歩踏み出すきっかけに関与します。
概要	<p>〈実施日〉 全9回 対象者参加のべ人数 計44名</p> <p>① 11/24・対象者数：12名・従事者数：6名・犬：2頭</p> <p>② 12/ 1・対象者数：10名・従事者数：6名・犬：3頭</p> <p>③ 12/13・対象者数： 2名・従事者数：3名・犬：1頭 ※個別対応</p> <p>④ 1/12・対象者数： 7名・従事者数：8名・犬：3頭</p> <p>⑤ 1/18・対象者数： 2名・従事者数：3名・猫：1頭 ※個別対応</p> <p>⑥ 2/22・対象者数： 2名・従事者数：3名・猫：1頭 ※個別対応</p> <p>⑦ 2/23・対象者数： 1名・従事者数：3名・犬：1頭 ※個別対応</p> <p>⑧ 3 /1・対象者数： 6名・従事者数：9名・犬：3頭</p> <p>⑨ 3 /6・対象者数： 2名・従事者数：3名・犬：1頭 ※個別対応</p> <p style="text-align: center;">参加のべ数：従事者44名・犬14頭・猫2頭</p> <p>〈活動場所〉 仙台市適応指導センター 児遊の杜3階教室にて</p> <p>〈活動内容〉</p> <p>私たちの活動は本会の会員と一緒に暮らしている成犬・成猫（健康診断や適性検査をクリア）&飼い主と会員（成人）が訪問し、児童生徒と一緒に過ごすことにより彼らに変化や気づきを与える活動です。児童生徒が動物との信頼関係を徐々に築いていく様子を見守ります。また動物を通して会員とのコミュニケーションも始まり、自然に人との絆も構築できます。小集団の活動では児童生徒達が一つの教室で楽しみながら一緒に時間を共有することが出来るようになる活動内容になっています。個別の活動では動物が教室に入る不安や初対面の人に対する緊張を取り除いてくれます。短い時間でも児童生徒が楽しい体験ができるように、またこの活動が通級につながるよう様々な工夫をしています。</p>
成果	<p>①今年度は、災害後にもかかわらず、諸先生がたの熱心な働きかけと相談員の先生との直接的なやりとりが可能になったお陰で、前年度より続いている小集団の活動はもとより個別対応も実現できた事は本会の活動当初の目的に沿える内容になりました。</p> <p>②小集団の活動においてはだいぶ集団行動に慣れていたこともあり、リードプログラム（犬に本を読んで聴かせるプログラム）を取り入れることができました。それぞれ気配りしながら真面目に取り組む姿が見られました。</p> <p>③参加している犬と一緒に正しいふれあい方やお世話の仕方を体験する場面では自発的に動物と関わる姿が見られました。また初めはお互いにぎこちなく遠慮がちな児童生徒も、動物を介することで違う学年の児童生徒や会員とのコミュニケーションが自然に生まれ、日常の話題がさりげなく交わされていました。その内容は児童生徒それぞれの興味ある事や将来の夢などで、前向きでポジティブな発言をしていたのが印象的でした。</p>

活動形態	動物介在教育 / 児童 / 集団
施設名	NPOみやぎ・せんだい子どもの丘 仙台市鶴巻児童館 (仙台市内)
目的	児童館の要請により、育ちゆく子どもたちと育児中の保護者、また児童館を利用する小学生に対して、それぞれの年齢・状況に応じたプログラムで動物介在活動を体験してもらいます。動物とのふれあいを通して育児中の保護者には体と心が少しでもラクになり楽しく子育てができる様、また小学生には心身の安定を図り穏やかな気持ちで人やものに接してもらうことができるように支援することを目的とします。
概要	<p>〈実施日〉 全2回 対象者参加のべ人数 計20名</p> <p>① 12/26・対象者数：小学生1～5年生14名・従事者数：12名・犬：4頭</p> <p>② 1/31・対象者数：乳幼児親子：6組6名・従事者数：9名・犬：3頭</p> <p>※1/31 専門学校生4名 実習として参加</p> <p>参加のべ数：従事者21名・犬7頭</p> <p>〈活動場所〉 鶴巻児童館ホール</p> <p>〈活動内容〉</p> <p>「犬と仲良くなろう」をテーマに、小学生に対しては犬との正しいふれあい方と触ってはいけない時を学んでもらい、ふれあう時間を長めに設定することで犬との距離感をスムーズに縮めていくことができ、ゆったりした活動になりました。学年、男女、犬が好き苦手などを混合させたグループ分けにより子ども同士の助け合いが生まれました。乳幼児対象の活動では保護者同士の仲間作りに重点を置きながら、親子一緒に犬を介して活動することで互いのつながりをより一層深めるきっかけにしてもらいました。</p>
成果	<p>子育てや子どもが育つ環境を支援する拠点となっているこの児童館は東日本大震災の影響を多く受けた地区にあり、仮設住宅から通う子ども達もいるのが現状です。館長先生はじめ職員の方々から、いろいろな思いで慌ただしく暮らす子ども達に対して犬とふれあいながらゆったりした時間を過ごさせたいと強く希望されました。小学生対象では特別な要素を組み込まず特徴ある参加犬4頭とじっくり関わるプログラムで対応しました。子どもたちは活動の約束を守りながら気に入った犬と懸命に信頼関係を築いていき優しく接してくれました。犬に触ったことがない子、普段は落ち着かない子、恥ずかしがり屋で発語が出にくい子などが犬を介して新しい自分に出会えたと施設側から感想をいただき犬の力を実感し充実した活動となりました。</p> <p>また、乳幼児対象では、犬とハンドラーが絆で結ばれている関係をいろいろな場面で表現することで子育てにも共通するヒントを感じてもらおうプログラムで活動しました。ハンドラーは犬の良い点や得意なことを発表し、穏やかに接します。対峙した各親子にも同じことをしてもらおうと自然にスキンシップがとれていきます。犬との挨拶は親がやってみせ無理強いせず自然な子どもの反応を待つことで新しい発見をしていました。普段の行事では子どもを任せきりにする姿が多く見られるが今回は親子一緒に活動する良さを感じてもらえた活動であったと評価を頂き、次年度にも活動の継続要請がありました。</p>

活動形態	動物介在教育 / 児童 / 集団 / 仙台市協働
施設名	仙台市中山市民センター・中山児童館 (仙台市内)
目的	<p>動物を介したところの支援セミナー全3回の一環として実施しました。 中山児童館に登録している子供達と中山市民センター周辺の小学校に通う小学生を対象に活動を行いました。 一般市民受講者に子供と犬の介在活動を見学していただき周知させることも目的となっています。</p>
概要	<p><実施日> 8/24 (水) 第2回セミナー (動物介在教育実践) 全1回 対象者参加人数 計46名 対象者数：小学生46名・従事者数：20名・犬：7頭 ※中学生3名職場体験として参加・保護者約10名見学参加 参加数：従事者20名・犬7頭</p> <p><活動場所> 中山市民センター体育館 <活動内容> 45分間の活動で、犬と仲良くなるためのあいさつやさわりかたを学び、初めて会う犬とのふれあいを行いました。また一人歩きの犬にあった時の回避方法や、さわってはいけないときもあるという話を通して犬という動物と人との違いや共通点を考える時間となりました。</p>
成果	<p>犬とのふれあいを楽しみに参加する児童がたくさん集まり、市民センター側も驚いていました。ただふれあうだけの活動ではなく、犬とのつきあい方を学ぶことの重要性も実感しましたと感想をいただけたことが市民センターの今後の役割に大きな影響を与えたと考えます。</p> <p>来年度は継続してこども達の活動を行うことが大切で様々なプログラムがあること、回数を重ねると犬達とふれあう時間も長く持てることなどを示し実践していきたいと思えます。また市民センターの役割とマッチするような独自のプログラムの構築も視野に入れて活動を進めて行きます。</p>

活動形態	動物介在教育／ 大学生／ 集団 ／仙台市協働
施設名	東北福祉大学 (仙台市内)
目的	<p>将来小学校教師、保育士を目指す大学生を対象に、仙台市と本会が実践している「子ども達への動物を介したアプローチ」を体験してもらい、動物が子どもに与える影響を一緒に考えて行きます。</p>
概要	<p>〈実施日〉 全1回 対象者参加人数 計24名 1/11 対象者数：大学生1年生（リエゾンゼミ受講生）24名 参加数：従事者7名・犬3頭 ※仙台市動物管理センター5名・犬1頭参加</p> <p>〈活動場所〉 東北福祉大学3号館 332教室 〈活動内容〉 仙台市出前講座として仙台市動物管理センターから依頼があり参加協力をしました。犬が好きな学生を対象に事前にアンケート調査も行い、打ち合わせを担当の先生と実施、授業で行う活動の準備も学生数名にお手伝いいただくという、対象者でありながら活動の企画準備部分から学べるような活動にしました。 低学年の子どもを対象に行う動物介在教育を再現（心臓の聴診、ふれあいなど）し、体感してもらいました。 その後、犬が子どもに与える影響について説明し、科学的根拠の元にこの活動が成されていることを理解してもらいました。事前、事後に学生達に犬の絵を描いてもらいその違いについても話し合ってもらいました。</p>
成果	<p>単純に犬の癒しだけを求めて参加した学生達が科学的なしくみとその手法を体験・体得したことにより、これを子供達に活用するにはどうしたらよいだろうという気持ちの変化がみられました。その後の授業で、今後就職先で子供達に活用できるよう、活動プログラムのひとつひとつの意味というのも説明していただくことになっていました。担当の先生方からは市民ボランティアとのコラボレーションの良い機会と捉え、今後なんらかの関わりをもって新しいコミュニティを作り上げていきたいというご感想をいただきました。</p>

活動形態	G. F. P. / 未成年 / 個別
活動場所	仙台北教会 (仙台市内)
目的	不登校ひきこもりの生徒を対象に犬を介在させた活動を実施。この活動が心の支えとなり学校や家庭内での問題を乗り切っていけるよう暖かく見守ります。
概要	<p><活動日> 全3回 対象者数1名</p> <p>① 7/27・従事者数：4名・犬：1頭</p> <p>② 8/31・従事者数：4名・犬：2頭</p> <p>③ 10/26・従事者数：4名・犬：2頭</p> <p>※9/29＝本人から体調不良なので休みたいと連絡が入り活動中止</p> <p>※11/30＝本人から通院と重なったので参加できない旨連絡が入り活動中止</p> <p>※12月以降＝本人の家庭の事情で物理的に活動ができない旨相談あり →活動ができるようになったら再開することに。</p> <p>参加のべ数：従事者12名・犬5頭</p> <p><活動場所> 仙台北教会</p> <p><活動内容></p> <p>高校生女子1名を対象に犬とふれあったり散歩する中で、会員や施設職員と会話や作業をします。将来、動物と関わる仕事やボランティアを希望しているので犬の特徴観察や簡単なお世話、エキューブの作業などを手伝ってもらって疑似体験につなげました。</p> <p>※ 仙台北教会牧師との打合せ 随時</p> <p><協力> 仙台北教会・宮城教育大学 佐藤静先生・県立こども病院</p>
成果	<p>本人の活動意欲とは裏腹に震災による様々な状況変化の影響と家庭環境が激変したことによって、定期的な活動がなかなか実行できない1年でした。また、当初からの複雑な家族関係が大きく作用して通学が困難になるという事態になりました。しかし、我々との継続した活動によって将来の希望が徐々に見えてきた時期だったこともあって、本人の自発的な行動が見られる場面が多く出現してきました1年でもありました。連絡方法が母親から本人の携帯と直接行えるようになりました。前もって予定を知らせてくるようになり無断欠席がなくなりました。自発的に将来の展望を話し始めそのために今は何をすべきかと相談してきました。また、いつもお世話になっている我々と犬に年賀状を出したいので住所を教えてほしいと言われ、かわいらしい葉書が届きました。外出は緊張はあるものの一人で出かけられるようになっているので、次年度は活動範囲を少し広げる事やボランティアとしての関わりを一緒に実践してみたいと考えます。</p>

《不登校・ひきこもりの青少年対象のこころの支援：「グッドフレンズ・プログラム」の活動にむけての対応》

- ①7/17 ボランティア希望者（親子）見学対応 従事者数：1名
②他団体からの問い合わせ対応

《仙台市適応指導センターの活動》

動物管理センター見学・職場体験 参加協力

実施日：12/6 生徒8名・12/15 生徒6名 *参加学級：児遊の杜・杜のひろば(あおば・八幡・太白・若林)

実施場所：動物管理センター 従事者数：のべ13名

内容：『職員の働く様子や施設の見学などを通して、動物管理センターの働きについて学ぶ、職員とのかかわりや動物とのふれあいを通して、人とのかかわりを深めるとともに自立心を養う』という参加側のねらいのもと、職場見学を体験する児童生徒に対して、施設の説明・見学と譲渡犬・猫とのふれあいの補助をしました。

《仙台市不登校支援ネットワーク関連事業報告》

仙台市における不登校の児童生徒・保護者への支援を行うために、仙台市適応指導センターが中心となって、賛同する多方面の立場の力が結集。それぞれの特性を生かし様々な課題の解決に協力し、子どもたちの健やかな成長を支えます。

- ①平成23年度不登校支援ネットワーク第1回運営会議
実施日：5/27 実施場所：アーバンネット勾当台ビル 参加者数：2名
- ②平成23年度不登校支援ネットワークボランティア養成講座Ⅰ・第1回ワーキング
実施日：6/18 実施場所：仙台市適応指導センター 参加者数：2名
講師：宮城教育大学教授 佐藤 静先生 講義内容：「不登校支援について」
- ③平成23年度不登校支援ネットワークボランティア養成講座Ⅱ・第2回ワーキング
実施日：9/17 実施場所：仙台市適応指導センター 参加者数：1名
講師：教育相談課特別支援教育課指導主事 癸生川 義浩氏
講義内容：「発達障害のある子供の理解と支援」
- ④不登校支援ネットワーク平成23年度公開研究会
実施日：10/29 実施場所：青葉区中央市民センター・ホール 参加者数：1名
テーマ：「不登校支援と震災後の心の支援」 話題提供とパネルディスカッション
- ⑤不登校支援ネットワーク博報賞受賞報告並びに祝う会
実施日：12/3 実施場所：パレスへいあん 参加者数：2名
- ⑥『不登校支援ネットワーク平成23年度活動報告書』掲載文書提出（3月）

《セミナー、研修会、勉強会等開催報告》

1. 動物介在活動ボランティア養成講座（仙台市協働事業）

全4回 従事者数：のべ75名・犬：のべ27頭

①動物介在活動セミナー

「動物を介したこころの支援活動について」 講師：エキューブ 顧問獣医師 新木由美先生

実施日：6/29 実施場所：中山市民センター

エキューブ会員17名・犬2頭 一般受講5名 中山市民センター職員6名参加

②動物介在活動セミナー（実践） 講師：エキューブ 顧問獣医師 新木由美先生

実施日：8/24 実施場所：中山市民センター

エキューブ会員20名・犬7頭 対象児童46名・保護者見学 約10名

中山市民センター職員5名 南中山中学校生徒3名（職場体験）

③セラピードッグしつけ方教室（初級・中級）

講師：赤坂動物病院獣医師 しつけインストラクター 千葉陽子先生

実施日：10/19 実施場所：中山市民センター

エーキューブ会員 21 名・犬 10 頭 一般受講：4 名 中山市民センター職員 5 名

④セラピードッグしつけ方教室（上級）

講師：赤坂動物病院獣医師 しつけインストラクター 千葉陽子先生

実施日：10/19 実施場所：中山市民センター・杜のホスピタル・あおば（会員のみ）

エーキューブ会員 17 名・犬 8 頭

中山市民センター職員 5 名 南中山中学校生徒 4 名（職場体験）

2. 動物介在療法勉強会

学校法人北杜学園 仙台医療福祉専門学校介護福祉学科における動物介在活動講義の実施

講師：エーキューブ理事 2 名

講義内容：「アニマルセラピー」＝講義と実践

介護福祉学科 2 年生 4 クラス 計 152 名を対象に講義を実施（計 4 回）

①10/25 実施場所：北杜学園仙台医療専門学校五橋校舎

従事者数：8 名・犬 5 頭 ・学生 75 名・学校側 2 名

②11/ 9 実施場所：北杜学園仙台医療専門学校五橋校舎

従事者数：11 名・犬 6 頭 ・学生 77 名・学校側 1 名

3. 宮城教育大学学生対象：動物介在活動研究会 ワークショップ

震災の影響により中止

4. 自主研修 実施回数：全 2 回

実施日：①7/27 ②12/5

実施場所：①仙台市動物管理センター ②仙台総合ペット専門学校

参加のべ数：会員 34 名・犬 17 頭・猫 2 頭参加

《その他》

こまくさ苑成人を祝う会・新年会にて 表彰されました。

実施日：1/13

実施場所：仙台市内

従事者数：2 名

2. 動物の防災及び被災動物の救護に係わる事業

3 月 11 日の東日本大震災発生以降、実務として現在も支援活動を継続中です。想像を絶する甚大な被害にここまで対処・継続出来ているのも、これまで仙台市総合防災訓練「ペット同行避難訓練」への参加や、飼主を含めた地域住民に働きかけを行う各地での防災出前講座実施など、7 年にわたる訓練の成果と沢山の方々からのご支援のお蔭でした。

《災害発生時の緊急連絡対応》

東日本大震災発生のため緊急連絡対応を実施、その後も会員の安否確認や仙台市や災害救護に係わる団体との連絡対応を行いました。

《東日本大震災被災動物救援活動一覧》

東日本大震災発生直後～現在も継続中 支援対象地域：宮城県内の被災地域

【3月】

- ・会員の安否確認及び被災状況、近隣避難所のペット同行避難状況の確認
- ・診療可能な動物病院・ペット用品店等の確認
- ・電力回復後は、ブログから情報を発信し全国からの支援物資により支援を開始
- ・仙台市内避難所を巡回し「不明犬・猫問い合わせ・預かり先・ペット用品支援」の連絡先を掲示
- ・ガソリン不足で避難所支援もままならない中、月末には仙台市以外の多賀城市、七ヶ浜町内避難所を巡回、仙台市外での物資支援開始

【4月】

- ・道路の不通、ガソリン不足が続く中、支援地域を拡大。支援が手薄な県南地域の山元町、亘理町、岩沼市、名取市、角田市等の避難所へ支援
また岩沼保健所との情報交換
- ・月中には、県北からの救援要請があり、気仙沼市、気仙沼大島へ獣医師同行等により健康相談、物資支援を開始
- ・南三陸町、東松島市、石巻市などへは委託により物資支援
- ・仙台市内、七ヶ浜町の避難所へは定期的に支援を継続
- ・避難所におけるペットの環境整備（テント・クレート他の設置及び衛生用品等の配布）
- ・大量の支援物資を、定期的に仕分け作業開始
- ・仙台市長宛 仮設住宅におけるペットの入居について嘆願書提出

【5月】

- ・仙台市内、七ヶ浜町、亘理町、山元町、気仙沼市、南三陸町などの避難所支援の傍ら、物流事情回復に伴い、支援物資を宅配便等での送付作業開始
- ・山元町支援中の自衛隊より、保護猫情報有り。動物病院へ搬送

【6月】

- ・今まで支援してきた避難所を定期的に支援
- ・各地の避難所整理・統合が始まり、支援避難所も変化

【7月以降 平成24年3月まで】

- ・南三陸町、山元町、亘理町への避難所支援のほか、宅配便等により県内各地への物資配送を継続中
- ・避難所から仮設住宅への移動が始まり、それに応じて物資支援のほか、しつけやマナー等の飼育アドバイスのサポートが追加
- ・北は気仙沼、南三陸町、南は山元町、亘理町まで、宮城県内沿岸部を会員の乗用車、レンタカー（トラック）にて物資支援
- ・亘理町仮設住宅にて子犬誕生。里親募集

《トピック》

【支援物資仕分け・移送・調達】

全国からの支援物資を仕分けし配送しました。通年 30回以上

【被災地巡回＝物資搬送・飼養相談対応 他】 通算180回（のべ278箇所）以上

4月：巡回71箇所以上	5月：巡回35箇所以上	6月：巡回19箇所以上
7月：巡回36箇所以上	8月：巡回18箇所以上	9月：巡回15箇所以上
10月：巡回 8箇所以上	11月：巡回16箇所以上	12月：巡回14箇所以上
1月：巡回 5箇所以上	2月：巡回18箇所以上	3月：巡回23箇所以上

※各月とも巡回以外に、随時物資発送・電話での問合せ・相談他各種対応

【東日本大震災における被災犬・猫のケア 対応】

*シャンプー可能な場所についての問合せ対応・連絡代行

*被災犬・猫のシャンプー受け入れ可能施設の調査及び依頼・被災犬搬送対応

*獣医師と共に避難所を巡回：仙台市内、山元町、亘理、岩沼、名取、塩竈、多賀城、大島

【被災犬・猫の一時預かり】

①山元町、被災地にて救援活動中、飼主のいない犬を保護、塩竈保健所岩沼支所からの依頼を受け、一定期間会員宅で犬を預かり世話をしました。(1頭)

②被災により犬の飼育が困難になった方からの依頼を受け、一定期間会員宅で犬を預かり世話をし、里親を探しました。(1頭)

③仙台市内、避難所生活で猫の飼養が困難という方からの依頼を受け、一定期間会員宅で猫を預かり世話をしました。(1頭)

④仙台市内、被災により猫の飼養が困難になった方が上杉包括支援センターに相談、同センターからの依頼を受け、一定期間会員宅で猫を預かり里親探しをしました(2頭)

⑤亘理地区、被災地で救護された猫について自衛隊より連絡を受け、猫を引き取りに向かい、動物病院へ搬送、その後会員宅で猫を預かり世話をしました。(1頭)

⑥仙台市内のコンビニから連絡を受け被災子猫を救護、一定期間会員宅で預かり世話をしました(5頭)

⑦山元町、避難中の方から飼い猫の救護について相談を受けた獣医師からの連絡を受け、猫を救護し一定期間会員宅で預かり担当獣医師に引き渡しました。(1頭)

⑧仮設住宅ペット飼養者の動物病院付き添い

実施日：3/7 実施場所：市内仮設住宅～市内動物病院

従事者数：1名

《仙台市動物管理センターへの協力》

①ボランティア（会員／非会員）受け入れ対応

K9（ケイナイン）シッター(被災犬のサポート)説明会 全8回

実施日：5/2・6/8・6/21・6/29・11/15・12/6・3/6・3/9

受講者数：33名・従事者数：のべ7名

内容：★環境省作成のDVDの一部を研修（犬の適正やボディーランゲージなど）

★シッター業務に関わるにあたって（守秘義務や安全なハンドリング、衛生面等）

★施設見学（通常は動物管理センターの先生が施設案内をしますが、センターの許可をいただきエーキューブ担当者が行う場合もあります。）

★連絡方法（参加日程など）の確認などを研修

★保険加入、危機管理、事故病気などの対応を説明

<活動場所>仙台市動物管理センター ※6/29のみ仙台市内

②センター収容被災犬猫一時預かり

実施日：4月・年末年始他 センターからの依頼にて随時

実施場所：会員宅 預かり犬数：6頭

従事者数：のべ6名

預かり猫数：15頭

従事者数：のべ3名

③被災子犬引取り送迎対応

実施日：8/21 実施場所：動物管理センター～仙台駅

従事者数：1名

④仙台市動物管理センターからの依頼により被災者へ亡くなったペットの立体写真額製作の説明・受注・受け渡し対応 ※製作：(株)クローンファクトリー

実施日：1/27・2/7・3/6 実施場所：市内仮設住宅

従事者数：のべ3名

《仙台市動物救護対策本部活動》

- ①仙台市被災動物救護対策本部立ち上げ
実施日：5/21 実施場所：仙台市動物管理センター 従事者数：2名
- ②仙台市被災動物救護対策本部会議
実施日：5/24 実施場所：仙台市動物管理センター 従事者数：2名
- ③避難所（若林体育館）にて被災犬に狂犬病予防接種
実施日：5/28 実施場所：若林区体育館 従事者数：1名
- ④仮設住宅ペット可の説明会
実施日：5/29 実施場所：若林区役所・江陽グランドホテル 従事者数：2名
実施日：6/2 実施場所：あすと長町仮設住宅 従事者数：2名
- ⑤仮設住宅巡回～狂犬病予防注射、健康相談、および物資配布
実施日：7/3 実施場所：仙台市内の応急仮設住宅5箇所 従事者数：のべ4名
- ⑥宮城県動物愛護センター視察
実施日：8/11 実施場所：宮城県動物愛護センター 従事者数：1名
- ⑦仙台市被災動物救護対策本部会議
実施日：9/7 実施場所：仙台市動物管理センター 従事者数：3名
- ⑧仮設住宅でのマナーアップしつけ教室
実施日：9/15・9/23 実施場所：伊在・あすと長町仮設住宅 従事者数：のべ4名
- ⑨仮設住宅でのマナーアップしつけ教室
実施日：11/27 実施場所：あすと長町仮設住宅 従事者数：2名
- ⑩仮設住宅ペット飼育者のしつけ相談対応
実施日：12/15 実施場所：卸町仮設住宅 従事者数：2名
- ⑪仮設住宅でのマナーアップしつけ教室
実施日：1/23 実施場所：扇町仮設住宅 従事者数：2名
- ⑫仮設住宅ペット飼育者からの相談対応
実施日：1/31 実施場所：仙台市動物管理センター 従事者数：2名
- ⑬宮城野区仮設住宅入居者の犬登録者確認・狂犬病予防注射のお知らせ配布
実施日：3/27 実施場所：仙台市動物管理センター～宮城野区仮設住宅 従事者数：4名

【仙台市動物管理センター収容被災動物に係わる活動】

- ①被災犬譲渡会 全9回 従事者数：のべ92名・従事犬数：のべ3頭
実施日：4/23・5/21・7/16・8/21・9/25・11/6・12/18・1/22・3/11
※3/11のみ「第9回被災犬譲渡会および被災動物の追悼と感謝の会」として開催
従事者数 16名
- ②子犬譲渡会 全1回 従事者数：1名
実施日：12/7
- ③譲渡講習会 全10回 従事者数：のべ93名・従事犬数：のべ3頭
実施日：4/23・5/21・7/16・8/21・9/25・11/6・12/7・12/18・1/22・3/11
- ④譲渡候補犬のシッター・グルーミング(シャンプー・カット等)・治療補助
実施日：4/1～3/31の平日 9時～17時まで
4月：30回(119名)・5月：20回(78名)・6月：22回(81名)・7月：16回(66名)
8月：16回(48名)・9月：16回(53名)・10月：18回(43名)・11月：20回(67名)
12月：15回(41名)・1月：13回(27名)・2月：13回(23名)・3月：16回(46名)
通算 215回実施／従事者数のべ692名(※前年度：通算150回／従事者数のべ385名)
- ⑤被災猫譲渡会 従事者数：1名
実施日：9/25 実施場所：動物管理センター
実施日：12/18 実施場所：動物管理センター ※ブログ等広報で協力

⑥被災猫引取り送迎対応

実施日：10/21 実施場所：動物管理センター～仙台駅

従事者数：1名

【追悼・慰霊祭】

①動物愛護週間行事 動物愛護市民セミナー

実施日：9/26 実施場所：仙台市戦災復興記念館

従事者数：11名

テーマ)「被災者ととともに歩むペットロス・ケア」

講師：獣医師・ペットロス・ケアカウンセラー・作家 悠崎仁氏

②動物愛護週間行事『動物慰霊祭』

実施日：9/27 実施場所：仙台市戦災復興記念館記念ホール

従事者数：2名

内容：I：愛玩動物の御霊を慰める式典。毎年開催。慰霊の詩の朗読・黙祷・献花。

朗読「涙の国の物語」悠崎仁氏（獣医師・ペットロス・ケアカウンセラー・作家）

※エキューブはスタッフ（会場準備・誘導・壇上での式典の手伝い他）として参加

II：動物愛護に関する各種展示

展示ホールに於いて、動物介在教育を受けた子どもたちの絵や感想・ペットの防災に関するパネルや防災グッズの展示

【その他】

①『犬との暮らし』冊子・『猫との暮らし』冊子 作成・配布

東日本大震災被災地支援として、麻布大学介在動物学研究室とエキューブ協働で作成

「みんなで快適に過ごすために読む冊子」を作成。仮設住宅のペット飼育者の方々にお配りしているほか、マナーアップしつけ教室等で参加者にも配布しました。

②公益財団法人社会貢献支援財団様より仙台市被災動物救護対策本部としての救援活動が

「社会貢献支援財団賞」を受賞

《震災に係わるその他の対応》

【被災動物救援活動の写真パネル製作】仙台市獣医師会より作成依頼を受け、対応しました。

【電話取材対応】

実施日：通年 ～本会の被災動物救援活動についての問合せ（電話取材）に随時対応～

9/14 保護子猫預かり依頼の件確認・適性飼養アドバイス

従事者数：1名

その他、救援活動の参加協力申し出その他について、電話・メール等でも随時対応しました。

【取材対応】

仙台市動物管理センターの譲渡候補犬のシッター・譲渡会・子犬譲渡会・譲渡会前のグルーミングの様子など、取材に来られた方にその場で随時対応、また本会の被災動物救援活動の取材について対応しました。

4/5 仙台リビング・東北放送 ～シッターの様子について取材～

4/28 中国新聞社 ～シッターの様子&ボランティア内容について取材～

5/21 埼玉県の鳥のボランティア団体～被災地の様子及び救援活動聞き取り～

6/17 芸能人3名～救援物資届け・センター見学・被災地の様子及び救援活動聞き取り～

8/21 赤旗日曜版 ～譲渡会・エキューブの救援活動について取材～

10/9 シルフィード株式会社 ～エキューブの救援活動について取材～

10/21 日本ヒューマン・アニマル・ネイチャー・ボンド・サティ ～エキューブの救援活動について取材～

12/6 泉区福祉情報誌より取材

12/8 ライター香取氏「ペットたちの3・11」=ペット連れで被災した方たちへの取材同行

12/9 ライター香取氏「ペットたちの3・11」=エキューブへの取材

1/31 社会貢献支援財団賞受賞 聞き取り（仙台市被災動物救護対策本部事業）

- 2/10 FM仙台 ～災害時のペットの避難のあり方や備え等取材～
- 2/15 杜の伝言板ゆるる ～震災後の復興への道特集 取材～
- 3/30 仙台ボランティア協議会からの原稿依頼提出
～東日本大震災とペット支援「人と動物の共生を目指して」～
- 4月・9月 愛犬チャンプ エーキューブの救援活動について掲載
- 4月・5月 フジTV、NHKアサイチ、東北放送他 取材

《平成23年度仙台市総合防災訓練（仙台市協働事業）》

震災の影響により中止

《その他》

- ①4/25 仙台市長へ「東日本大震災被災動物飼養関係嘆願書」（仮設住宅におけるペットの入居等について）提出
- ②各書類の作成（預かり依頼書兼同意書・譲渡依頼書兼同意書・里親誓約書・預かり動物情報カード）
- ③災害時のペット同行避難について各所で呼びかけ
- ④日本動物愛護協会様より特定非営利活動法人エーキューブの被災動物救援活動が「日本動物大賞」受賞候補にノミネート
- ⑤日本ヒューマン・アニマル・ネイチャー・ボンド[®]・ソサエティからの義援金による事業の実施
 - *一時預かり犬の費用負担
 - *物資購入運送
 - *犬猫の避妊去勢手術費用一部補助にむけての準備

《講演会・セミナー等の参加・聴講》

- ①WJVF第2回大会（JAHA+JBVP合同開催）講師参加
実施日：6/18 実施場所：大阪国際交流センター 参加者数：1名
- ②日本ヒューマン・アニマル・ネイチャー・ボンド[®]・ソサエティ アニュアルミーティング 講師参加
実施日：9/30 実施場所：東京国際フォーラム 参加者数：1名
- ③（社）静岡県動物保護協会講師参加
実施日：2/29 実施場所：静岡県職員会館「もくせい会館」 従事者数：1名
内容：「仙台市における被災動物救護対策避難所におけるペット対策等について」講演
- ④静岡県の健康福祉課衛生部の災害時のペット対策の取り組み 静岡市動物指導センター
動物管理センターと同行で会議
実施日：3/1 実施場所：静岡市動物指導センター 従事者数：1名
- ⑤第9回杜の都の地域福祉セミナー 出展参加（パネル展示）
テーマ：「地域で取り組む支えあいのまちづくり～震災後の地域支援の現状と課題～」
実施日：2/29 実施場所：仙台市民会館 従事者数：4名
内容：パネル掲示等を通じ、仙台市内の福祉関係団体等の活動内容等を紹介。
展示物：エーキューブ被災動物救援活動パネル（ラミネート加工）
エーキューブパンフレット・「犬との暮らし」冊子・「ペットと一緒に避難するために」
「猫クレートトレーニング」冊子・犬のぬいぐるみ・犬用防災避難袋他

3. 人と動物の関係に係わる支援事業

《相談・対応》

- ①日本ヒューマン・アニマル・ネイチャー・ボンド[®]・ソサエティ との打合せ（東京3月・仙台9・10月）や、麻布大学 介在動物学研究室との打合せを通年で行いました。
- ②仙台医療福祉専門学校生の仙台市動物管理センターボランティア受け入れ
実施日：10/18 実施場所：動物管理センター 従事者数：2名
- ③麻布大学研究室 アンケート調査協力
- ④デジタルアーツ仙台 中国人留学生ボランティア受け入れ
- ⑤ボランティア団体および個人からの相談対応 実施日：通年 実施場所：宮城県内

《講演会・セミナー等参加》

- 「ヒューマン・アニマル・ネイチャーボンド（HANB）講座」聴講
学校法人創志学園クラーク記念国際高等学校 福祉・心理コース授業
講師：日本ヒューマン・アニマル・ネイチャー・ボンド[®]・ソサエティ
実施日：9/16・10/21・11/18
実施場所：学校法人創志学園クラーク記念国際高等学校仙台キャンパス
参加者数：のべ3名

4. 動物愛護啓発に係わる事業

《マナーアップ啓発パンフレットの配布》

- 6月中の狂犬病予防接種会場にて（仙台市協働事業）
実施日：6/10 11 18 23 26 27 28 29 実施場所：仙台市内10箇所 従事者数：のべ16名
内容：狂犬病予防接種会場にて、犬連れの方に「全国一斉！クリーン作戦」の冊子と糞取り用のビニール袋を配布し、飼い主のマナーアップ啓発を呼びかけました。
また機会あるごとに同冊子を配布し、通年での呼びかけを行いました。

《GOOD DOGマナーアップ事業（宮城野区公園課委託事業）》

昨年度から始まりました公園課との協働事業が今年度は本会に委託されました。

- ①榴ヶ岡公園マナーアップ啓発看板作成
芝生の上の排泄禁止、糞の持ち帰りを促す啓発看板を作成・公園課で設置しました。
- ②宮城野区民まつりしつけ教室&マナーアップチラシ配布
実施日：9/28・9/30・10/3・10/5・10/7 実施場所：榴ヶ岡公園 従事者数：のべ5名
内容：犬連れの方に宮城野区民まつりしつけ教室チラシと糞取り用のビニール袋を配布し、飼い主のマナーアップ啓発を呼びかけました。
- ③みやぎの・まつり散歩マナーしつけ教室講師
実施日：10/16 実施場所：榴ヶ岡公園 従事者数：のべ15名・犬5頭
内容：犬連れの方に宮城野区民まつりしつけ教室チラシと糞取り用のビニール袋を配布し、飼い主のマナーアップ啓発を呼びかけました
- ④愛犬マナーアップ講演会「人と犬の笑顔のために」開催 講師：三浦健太氏
実施日：11/19 実施場所：宮城野区役所 従事者数：9名

《茂庭台地区市民文化祭 マナーアップしつけ教室実施&出展》

午前：マナーアップしつけ教室 午後：子ども達と犬とのふれあい
実施日：10/2 実施場所：茂庭台市民センター 従事者数：11名・従事犬数：5頭

《青葉区民まつり 散歩マナーしつけ教室実施&出展（仙台市協働）》

実施日：11/3 実施場所：勾当台公園 従事者数：9名

《「わんこ育て支援サロン」(通称：わん育サロン)》

本会の定款第2章（「動物愛護法に基づいた適正飼養の指導・啓発を行うこと」を通して、人と動物が幸せに暮らせる地域社会を構築することにより社会に寄与する）を基に、以下を目的として平成21年度より開始しました。

犬の飼育について悩んでいる一般市民が、気軽に参加できるサロン形式で会員との交流を通して犬と楽しく暮らせるように考える場を提供します。

※会員1名より犬の飼育相談があり、数回にわたって訪問・指導にあたりました。

《K9（ケイナイン）ファミリー同窓会》

震災の影響により中止

《動物愛護に関する活動》

①動物愛護協議会に理事長が協議委員として出席及び傍聴

実施日：7/26 実施場所：仙台市役所2階第5委員会室 従事者数：6名

実施日：3/28 実施場所：仙台市役所2階第5委員会室 従事者数：3名

②アニマルシェルターボランティアセミナー受講

講師：田中亜紀先生・水越美奈先生（主催）日本動物福祉協会（協力）日本動物病院福祉協会

実施日：10/29 実施場所：東北愛犬専門学院 参加者数：7名

実施日：12/25 実施場所：仙台市動物管理センター 参加者数：10名

③第14回日本臨床獣医学フォーラム 東北地区大会 市民公開講座聴講

講師：村田香織先生／渡辺正道先生（福島県）・寺島美穂先生（福島県）

実施日：3/4 実施場所：仙台市国際センター 参加者数：8名

5. その他、第3条の目的を達成するために必要な事業

本年度実施なし

運営報告

1. 通常総会の開催

■第5回通常総会

日時：平成23年6月21日（火）13:30～14:30 会場：みやぎNPOプラザ

議事：第1号議案 平成22年度事業報告及び決算の承認

第2号議案 平成23年度事業計画(案)及び予算(案)の承認

第3号議案 新役員(案)の承認

2. 理事会の開催

■平成23年度第1回理事会 6/21 みやぎNPOプラザ 理事9名・委任2名

議事：第1号議案 役員改選に関する件

■平成23年度第2回理事会 3/28 みやぎNPOプラザ 理事9名・委任2名

議事：第1号議案 法人事務所の変更に係る件

第2号議案 平成24年度活動参加会員の検査代徴収に関する件

第3号議案 平成24年度事業計画に関する件

3. 定例会等の開催

●平成23年度NPO法人エーキューブ4.29緊急会議 4/29 仙台市動物管理センター

議事：センター主幹推奨の義援金 仮設住宅ペット入居可の署名活動

避難所にペット居住のためのテントを設営する案 仙台市獣医師会からの講演依頼

エーキューブブログ 第5回通常総会 エーキューブ支援金 北杜学園の申し出

●事業計画検討会議および監査準備 6/1・3 みやぎNPOプラザ

●NPO法人エーキューブ平成22年度事業・会計監査 6/12 みやぎNPOプラザ

●第1回定例会 8/3 みやぎNPOプラザ

議事：宮城野区公園課マナーアップ事業・茂庭台市民センター文化祭・仙台市被災動物救護対策本部事業・被災犬譲渡会・犬と遊ぼう・動物愛護週間行事・AAE・動物介在活動・グッドフレンズ・プログラム・被災動物救援活動 他

●第2回定例会 9/7 みやぎNPOプラザ

議事：被災動物救援活動・仙台市被災動物救護対策本部事業・譲渡会・犬と遊ぼう・茂庭台市民センター文化祭・宮城野区公園課マナーアップ事業（しつけ教室・講演会）・動物愛護週間行事・シェルターボランティア研修会・北杜学園講義依頼・会計関連・J-HANBS 関連・動物介在活動・グッドフレンズ・プログラム 他

●第3回定例会 10/11 みやぎNPOプラザ

議事：仙台市被災動物救護対策本部事業・被災動物救援活動・宮城野区公園課マナーアップ事業・青葉区民まつりマナーアップしつけ教室・シェルターボランティア研修会・北杜学園講義・認定NPO・会計関連・J-HANBS・AAE・動物介在活動・グッドフレンズ・プログラム他

●NPO法人エーキューブ平成23年度上期事業・会計チェック準備 10/22 みやぎNPOプラザ

●第4回定例会 2/7 みやぎNPOプラザ

議事：J-HANBS 支援金・仙台市被災動物救護対策本部事業・被災動物救援活動・静岡県動物保護協会講師依頼・会計関連・AAE・動物介在活動・グッドフレンズ・プログラム・地域福祉セミナー・総会関連他

●第5回定例会 3/9 みやぎNPOプラザ

議事：被災動物預かり・総会および監査日程・検査代金・次年度検査および健康診断書提出・動物介在活動・宮教大ワークショップ・グッドフレンズ・プログラム・自主研修・仙台市被災動物救護対策本部事業・被災動物救援活動 他

●第6回定例会 3/28 みやぎNPOプラザ

議事：総会関連・次年度事業計画・仙台市被災動物救護対策本部事業・被災動物救援活動・獣医師会事業「センター収容の譲渡候補犬猫の給餌アルバイト」の件 他

4. 理事研修 等

【みやぎNPO復興支援にかかる情報交換会】

実施日：5/16 実施場所：仙台市市民活動サポートセンター 参加者数：2名

【新寄付税制&NPO法改正の内容及び今後の各地域で求められる条例制定や体制整備に向けたポイント学習会】

実施日：9/13 実施場所：仙台市市民活動サポートセンター 参加者数：1名

【みやぎNPO復興支援にかかる情報交換会】

実施日：5/16 実施場所：仙台市市民活動サポートセンター 参加者数：2名

5. 運営体制

- ①宮城野区公園課委託事業による収入の発生
- ②仙台市被災動物救護対策本部構成団体としての一般への認知度のアップと収入に繋がる事業の拡大、また本会への寄付の増加
- ③口座振込用途の区分
- ④会員の増加
平成23年4月1日現在 74名（正会員74名（56世帯）、ボランティア会員0名）
平成24年3月31日現在 102名（正会員94名（75世帯）、ボランティア会員8名）
- ⑤エキューブ通信（活動のお知らせ・参加者募集・その他連絡事項の伝達）を計11回発行
- ⑥活動のお知らせ・手順プリント等 計43回発行。
- ⑦その他、訪問施設や行政等への文書、賛助協力者への礼状等、随時送付。
- ⑧事務局体制

理事長：齋藤文江

副理事長：村上淳子・佐々木ひとみ

理事・事務局長：照井浩子

理事・会計：川上喜恵美

理事：渡邊圭子・千葉浩二・島田真須美・後藤美佐・林博子・工藤梓

6. 所有品について

管理番号	購入日	品名	メーカー・型名	購入金額	備考
001	2007.8.24	携帯電話	au	5,221	009へ機種変更により廃棄
002	2008.10.28	ラミネーター		8,780	
003	2009.1.31	ビデオカメラ	日立 DZ-HD90	59,800	
004	2009.1.31	ビデオカメラ用三脚	TSC TS-004	2,980	
005	2009.1.31	カラープリンター	Canon ix5000	29,800	
006	2010.5.14	トリミングハサミ		19,635	
007	2010.9.9	ICレコーダー	SONY ICD-SX950/B	18,600	
008	2010.9.9	ポータブルDVDプレーヤー	東芝 SD-P12DTK B	36,800	
009	2011.3.28	携帯電話	au PT002 機種変更	0	
010	2011.5.18	ポラロイドカメラ	FUJIFILM instax mini55	6,770	
011					
012					

会計報告

平成23年度特定非営利活動に係る事業会計財産目録(NPO会計基準)

特定非営利活動法人エーキューブ

平成24年3月31日

科目・摘要	金額(単位:円)		
I 資産の部			
1 流動資産			
現金			
現金手許有高	9,842		
郵便振替(ゆうちょ銀行 トクエーキューブ)	975,478		
郵便振替(ゆうちょ銀行 トクエーキューブセンドイ)	110,000		
普通預金(七十七銀行 加茂出張所)	237,373		
郵便預金(ゆうちょ銀行)	184,762		
立替金	3,850		
仮払金	0		
貯蔵品(切手類)	8,620		
流動資産合計		1,529,925	
2 固定資産	0		
固定資産合計		0	
資産合計(A)			1,529,925
II 負債の部			
1 流動負債			
前受金			
H24年度会費	102,500		
預り金	-		
H24年度ボランティア保険料	0		
未払金	0		
流動負債合計		102,500	
2 固定負債	0		
固定負債合計		0	
負債合計(B)			102,500
III 正味財産			1,427,425

平成23年度特定非営利活動に係る事業会計貸借対照表(NPO会計基準)

特定非営利活動法人エーキューブ

平成24年3月31日

科目・摘要	金額(単位:円)		
I 資産の部			
1 流動資産			
現金預金	1,517,455		
立替金	3,850		
貯蔵品(切手類)	8,620		
流動資産合計		1,529,925	
2 固定資産			
固定資産	0		
固定資産合計		0	
資産合計			1,529,925
II 負債の部			
1 流動負債			
未払金	0		
前受金	102,500		
預り金	0		
流動負債合計		102,500	
2 固定負債			
固定負債	0		
固定負債合計		0	
負債合計(B)			102,500
III 正味財産の部			
前期繰越正味財産		699,920	
当期正味財産増加額		727,505	
正味財産合計			1,427,425
負債及び正味財産合計			1,529,925

平成23年度特定非営利活動に係る事業会計収支計算書(NPO会計基準)

平成23年4月1日から平成24年3月31日まで

特定非営利活動法人エーキューブ

科目	金額(単位:円)		
I 経常収益			
1 受取会費			
正会員受取会費		148,000	
賛助会費受取会費		4,000	
ボランティア会員受取会費		4,500	
2 受取寄付金			
受取寄付金		180,580	
東日本大震災支援金		2,282,808	
3 受取助成金等			
仙台市被災動物救護対策本部		500,000	
4 事業収益			
事業収益		0	
5 その他収益			
受取利息	116		
雑収入	366,384		
保険料	34,500		
保健衛生費	0	401,000	
経常収益計			3,520,888
II 経常費用			
1 事業費			
(1)人件費			
人件費計		0	
(2)その他経費			
通信費	91,442		
携帯電話通信費	0		
印刷製本費	144,985		
消耗品費	1,394,974		
会議費	0		
保健衛生費	361,964		
旅費交費費	461,570		
荷造運搬費	139,117		
保険料	0		
研修費	0		
支払手数料	0		
図書研究費	0		
諸会費	0		
雑費	0		
その他経費計	2,594,052		
事業費計		2,594,052	
2 管理費			
(1)人件費			
人件費計		0	
(2)その他経費			
通信費	29,945		
携帯電話通信費	30,000		
印刷製本費	1,470		
消耗品費	38,820		
会議費	21,976		
接待交際費	10,750		
保健衛生費	-		
旅費交費費	23,980		
保険料	34,500		
研修費	1,000		
支払手数料	2,325		
図書研究費	0		
諸会費	4,000		
雑費	215		
雑損	350		
その他経費計	199,331		
管理費計		199,331	
経常費計			2,793,383
当期正味財産増減額			727,505
前期繰越正味財産額			699,920
次期繰越正味財産額			1,427,425

財務諸表の注記(NPO会計基準)

今事業年度よりNPO法人会計基準(2010年7月20日 NPO法人会計基準協議会)に準拠して財務諸表を作成することとしました。

1. 重要な会計方針

財務諸表の作成は、NPO法人会計基準(2010年7月20日NPO法人会計基準協議会)によっています。
同基準では、特定非営利活動促進法第28条第1項の収支計算書と呼んでいます。

2. 事業別損益の状況

事業別損益の状況は以下の通りです。

科目	動物介在活動・介在療法・介在教育並び不登校に係わる事業	動物の防災及び被災動物の救護に係わる事業	人と動物の関係に係わる支援事業	動物愛護普及啓発に係わる事業	その他、第3条の目的を達成するために必要な事業	東日本大震災支援金	仙台市被災動物救護対策本部助成金	事業部門計	管理部門	合計
I 経常収支										
1. 受取会費								0	156,500	156,500
2. 受取寄付金						2,282,808		2,282,808	180,580	2,463,388
3. 受取助成金等							500,000	500,000	0	500,000
4. 事業収益								0		0
5. その他収益								0	401,000	401,000
経常収益計	0	0	0	0	0	2,282,808	500,000	2,782,808	738,080	3,520,888
II 経常費用										
(1) 人件費										
人件費計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
(2) その他経費										
通信費	6,820	81,872	2,250	100		0	400	91,442	29,945	121,387
携帯電話通信費	—	—	—	—				0	30,000	30,000
印刷製本費	1,700	0	0	1,800		—	141,485	144,985	1,470	146,455
消耗品費	7,306	5,153	0	127,780		986,798	267,937	1,394,974	38,820	1,433,794
会議費			0			—	—	0	21,976	21,976
接待交際費						—	—		10,750	10,750
保健衛生費	106,428	—				219,475	36,061	361,964		361,964
旅費交際費						393,680	67,890	461,570	23,980	485,550
荷造運搬費						139,117		139,117		139,117
保険料									34,500	34,500
研修費									1,000	1,000
支払手数料									2,325	2,325
図書研究費									0	0
諸会費									4,000	4,000
雑費									215	215
雑損									350	350
その他経費計	122,254	87,025	2,250	129,680	0	1,739,070	513,773	2,594,052	199,331	2,793,383
経常費用計	122,254	87,025	2,250	129,680	0	1,739,070	513,773	2,594,052	199,331	2,793,383
当期経常増減額	△ 122,254	△ 87,025	△ 2,250	△ 129,680	0	543,738	△ 13,773	188,756	538,749	727,505

3. 使途等が制約された寄付金などの内訳

使途等が制約された寄付金等の内訳は以下の通りです。

内容	前期繰越額	当期受入額	当期減少額	次期繰越額	備考
東日本大震災支援金	387,700	2,285,808	1,739,070	934,438	
仙台市被災動物救護対策本部助成金	0	500,000	513,773	-13,773	

4. その他

当事業年度よりNPO法人会計基準に準拠して財務諸表を作成することになりましたが前事業年度以前から発生主義に基づいて財務諸表を作成してきましたので影響はありません。

平成23年度 監査報告書


特定非営利活動促進法第18条の規定に基づき、平成23年度（平成23年4月1日～平成24年3月31日まで）の特定非営利活動法人エーキューブの業務及び会計の状況について監査を実施しました。

監査の方法は、重要な会議の議事録その他の重要資料を閲覧するほか理事から事業の報告を聴取し、また会計の状況については証拠書類の閲覧、照合、質問などの合理的な補償を得るための手続きを行いました。

監査の結果、法人の業務の執行に関しては法令及び定款に違反する重大な事業はなく、平成23年度の特定非営利活動法人エーキューブの会計の状況は適切なものと認められます。

平成24年4月25日

監事 渡邊 努 

監事 西山 純江 

寄付金・寄付物資報告

以下は、平成23年4月1日～平成24年3月31日まで、平時の賛助協力をいただいた方々です。

平成23年度のご協力をありがとうございました。

(順不同)

■寄付金

医療法人社団清山会理事長山崎英樹様 見並朋子様 秋野由利様
コバヤシキョウコ様 笹原みちよ様 オオナギキヨミ様

(以下エーキューブ会員)

島田真須美様 佐藤直美様 林博子様 佐々木ひとみ様 鈴木真紀様

■寄付物資

柴内裕子様 仙台市獣医師会様 角田千賀子様 佐々木繁様

(以下エーキューブ会員)

佐々木ひとみ様 後藤美佐様 川名美恵子様 工藤梓様

※東日本大震災への支援については、別途報告